

第2回 米子工業高等専門学校評議員会 議事要旨

日 時 平成17年3月14日(月)15時00分～17時15分

場 所 米子ワシントンホテルプラザ

出席者 委員： 入澤睦美 金田 昭 副井 裕
藤田教正 矢末 誠 森脇 孝

本 校： 校 長 杉浦哲郎 副 校 長 林 貞男
教務主事 小田耕平 学生主事 藤田忠義 寮務主事 足立新治
事務部長 中野 明
庶務課長 田中 巖 会計課長 仲井 章 学生課長 田屋幸太郎

欠席者 委員： 中永廣樹(県議会開催のため)

テーマ 「入学生の確保」・「社会に送り出す」

1. PRビデオ上映

会議に先立ち、本校の放送部が中学校向けに作成したPRビデオが上映された。

2. 本校の現状説明

校長から、資料に基づき、「入学生の確保」に関して、1.アドミッションポリシー、2.入試方法、3.入試広報活動、4.平成16年度入学生の意識調査、5.編入学生・留学生・専攻科生の推移、また、「社会に送り出す」に関して、1.職業意識の育成、2.進路指導体制、3.進路指導の実際と進路指導関連行事、4.最近10年の進路状況等について説明が行われた。

3. 各委員からテーマに基づいた、次のような主な発言があった。

(印：各委員、 印：本校)

今、子供達の学習意欲が問題となっているが、明確な目標がないということが大きな原因と考えられる。中学校に対して高専のPRをするのもよいが、もっと早めて小学校に対するPRも考えてはどうか。小学校の時から高専に入ることを一つの目標にする子供を育てるようなPRができれば良いのではないかと。さらに、PRビデオから一歩踏み込み、実際に授業の中で使えるものを作成してはどうか。小学校の頃から高専を目指すようになれば、学習意欲も増すのではないかと思う。

小学校については、公開講座を通してPRをしているということであるが、実際自分の子供が公開講座を受講した際には、大変面白く喜んで帰って来た。しかし、資料を見る限り、公開講座の受講者数が少ないと感じる。その分PRが足りないのではないか。

出前授業を行ってはどうか。また、学生数を増やすことは考えられないか。例えば1学科の入学定員を45人位にする等である。

出前授業については、これまでも2～3の中学校から要望があり、実施しているが、さらに、本校の方から積極的にPRに出かけるようにしたい。

入学定員を増やしてはとの意見があったが、ただ単に数を増やせば良いという問題ではないと思う。現に200人の入学者があっても卒業する時には171人に減っている。それだけ落ちこぼれの学生がいるということであり、むしろ、その落ちこぼれを少なくするような対策がとれないものか。

平成16年度から面接検査を加えたとあるが、内容的にはどのようなものなのか。例えば専門的な質問などの口頭試問を含んでいるのか？また、適性検査なども実施しているのか。

入試での面接は通常の面接であり、特に専門的な質問はしていない。
また、適性検査は実施していない。

PR活動として、学校見学会を実施したとあるが、参加者が少ないのではないかと感じる。例えば関東圏の大学では1週間単位で実施されている。高専も1日だけではなく夏休み期間を利用して5日間位実施してはどうか。

ビデオを見たが、学生が作ったとのことで、ナレーションなどが一定していない等改善の余地が見受けられる。地元の中海テレビ等のアドバイスを受けて作成してはどうか。また、現在使用している設備等がほとんど映像として出てこない。その設備の紹介などがあれば、より良いPR材料になるのではないか。さらに、現代はインターネットの時代であるので、ビデオをホームページ等に掲載してはどうか。近隣の学校にはDVDに落として配布しても良いと思う。

地域的には、県の中部・東部をもう少し取り込むべきだと思うし、中国地方全体でも、米子高専の特徴を出したPR活動をしてはどうかと思う。

学校見学会等で学校内を見学していただくのは大事なことだと思う。夏休み中にもっとモノを創る講座を増やしてはどうか。

また、高専に入れば大学へ進学するにも有利だとして、大学へ行くために高専に入るということもよく聞くが、就職ばかりではなくこの面ももっとPRしてはどうか。また、ビデオも良いが、もう少し新聞を利用して、高専での行事の予定であるとか教育研究活動などを掲載してもらい、PRに役立たせて欲しい。

推薦入学について、入学定員の30%程度とすとなっているが、今後は推薦入学の定員は増やす方向なのか。

また、内申書の評価については、どのように考えているのか。

推薦入学については、本校を第1志望とする学生を確保できること、また、早期に入学者が確定するので、入学者確保の面からも、今後はできれば増やしていきたい。内申書の評価については、成績の面では、中学校はきちんと正確なものを出していると考えている。

就職に関して、企業等への定着率を追跡調査してはどうか。

また、先輩の意見は、就職を検討するうえで非常に参考となると思う。就職して活躍されている方を呼んで、講演等してもらってはどうか。

就職後の定着率については、調査方法が難しいこともあり、データは取っていない。今年、同窓会名簿を更新したが、確かに不明率が高くなっており、転職している者も多いと考えられる。また、地元に戻っている者も増えているようである。

また、求人企業に本校の卒業生がいる場合は、大体その卒業生が求人に来るので、その時にはできる限り多数の学生に対して話をしてもらっている。

米子高専から鳥取大学工学部に編入し、大学院を卒業して学会賞を受賞するなど大活躍をされている方もおられるので、こういう方に講演をお願いしても良いではないか。

鳥取大学では、企業に就職した先輩が企業の実情等について話をするを集中講義として行っている。

高専でも、企業にお願いして、後輩に話をしてもらうために先輩を呼んではどうか？また、先輩が帰省している機会などを利用して話をしてもらってはどうか。

高専は、インターンシップの期間が短いのではないかと。
もっと長期、例えば1か月程度でも良いのではないかと。

以前は3週間位であったが、現在は受入企業の都合で、長くて1週間程度になっている。

物質工学科は、平成16年度で就職が20%で、進学が80%と他の学科とは大幅に異なっている。なにか理由があるのか。

県内には化学関係の企業が少ないこと、また、物質工学科は、女子学生が多いことも影響していると思う。さらに、物質工学科からは、大学の工学部だけでなく、理学部や農学部にも進学可能であり、大学の間口が広いことも理由の1つと考えられる。

来年春には、初めての専攻科の修了者が出るが、高専としては、修了者の進路についてどのように考えているのか。

鳥取大学としては、修士の受入を考えているが。

就職希望の学生が多いが、進学希望者もあるので、よろしくお願ひしたい。

教育の基本の1つとして、「モノづくり」があるが、今の学生はほとんど機械を使ってものを作れない。コンピュータとか三次元CAD等は出来るのに、実際にものを作るといふことが出来ない。

「モノづくり」について、高専としてはどう考えているのか。

高専としては、従来から「モノづくり」を重視した教育を行っている。例えば機械工学科では、実際に実習工場を使ってものを作るといふ教育を行っている。電子制御工学科では、コンピュータを使用するということに加え、1～2年生に実習工場で実際にものを作る時間を設けている。電気工学科については一時、実習工場の使用を止めていたが、今後は実習工場を使用する予定としている。近年、「油まみれになってもものを作る」といふことを座学中心にシフトしていたが、今後は元に戻していこうとしているところである。

高専としては、やはり「モノづくり」といふ面で特長ある教育を考えるべきであろう。就職にも大いに有利になると思う。

機械工学科における教育は、開発を目指しているのか。
職人を目指しているのか。

勿論、最終的には開発に携わること考えているが、企業に入れば先ず現場で油まみれになっているようである。でもそれを経て最終的には、開発の方に携わっている。例えば、三菱重工に入った女子学生の場合など、最初は現場で油まみれになっていたが、最近はヘリコプターの設計に携わっている。

企業としても、やはり現場を知っていなければ、モノは作れないと考えているのだろう。

創造力を育成する教育としては、どのようなカリキュラムがあるのか。

例えば機械工学科では、1年生の時に、階段を昇るロボットを自分達で考えて作る時間を設けている。また、物質工学科では、実験の中で自分達の考えだけで試行錯誤のうえ、活性炭を作るということを行っている。

県の産学官連携に関する補助金について、今年度から1件当たりの金額を減らし、採択件数を増やし、12件とした。また、環境リサイクル開発補助として5件を考えているが、これは1件当たりの金額の3分の2が補助金、残り3分の1が企業負担である。

これらは、何れも大学あるいは高専の教員との共同研究が条件となっているので、高専でも企業と連携して是非積極的に申請してもらいたい。さらに、今年度は県として新しく米子高専に研究委託をお願いする予定である。

第2回

米子工業高等専門学校 評議員会

平成17年3月14日(月)

目 次

I 入学生の確保	1
1. アドミッションポリシー	
独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画	
本校の教育理念と養成すべき人材像	
2. 入試方法	3
現行の入試方法	
入試方法の変更と年度	
最近10年の入学状況	
3. 入試広報活動	7
本校主催入試説明会の参加状況	
学校見学会（オープンカレッジ）参加状況	
鳥取地区中学生および保護者への入試説明会	
中学校進路指導担当者向け 入試説明会	
平成16年度入試説明会	
平成17年度入試説明会	
各種催し物におけるPR	
中学校向けPR	9
中学校訪問	
中学校主催の進路説明会等への派遣	
小中学生向けの公開講座	
4. 平成16年度入学生の意識調査	11
5. 編入学生，留学生，専攻科生の推移	15
II 社会に送り出す	17
1. 職業意識の育成	
2. 進路指導體制	
3. 進路指導の実際と進路指導関連行事	
4. 最近10年の進路状況（資料）	
・最近10年の進路状況	19
・学科別就職希望者率の推移	
・求人状況	
・学科別の主たる就職先	21
・主たる進学先	23
・平成16年度進路状況	25

I 入学生の確保

1. アドミッションポリシー

独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画

- ① 中学校長や中学校PTAなどの全国的な組織との関係を緊密にするとともに、進学情報誌を始めマスコミを通じた積極的な広報を行う。
- ② 中学生が国立高等専門学校の学習内容を体験できるような入学説明会、体験入学、オープンキャンパス等の充実を支援する。
- ③ 中学生やその保護者を対象とする各学校が共通的に活用できる広報資料を作成する。
- ④ ものづくりに関心と適性を有する者など国立高等専門学校の教育にふさわしい人材を的確に選抜できるように入試方法の在り方の改善を検討する。
- ⑤ 入学者の学力水準の維持に努めるとともに、入学志願者の減少率を15歳人口の減少率よりも低い5%程度に抑え、中期目標の最終年度においても全体として18,500人以上の入学志願者を維持する。

本校の教育理念及び養成すべき人材像

教育理念

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行う。

養成すべき人材像

教育理念に基づき、次のような人材を養成する。

1. 豊かな感性と高い倫理観に裏打ちされた幅広い教養を持つ人材
2. 専門的知識と技術を活用して、実践的なものづくりを行える人材
3. 主体的に問題を発見し、それを解決して行く能力を有する人材
4. 環境保全も視野に入れて国際的に活動するとともに、地域への貢献が果たせる人材

2. 入試方法

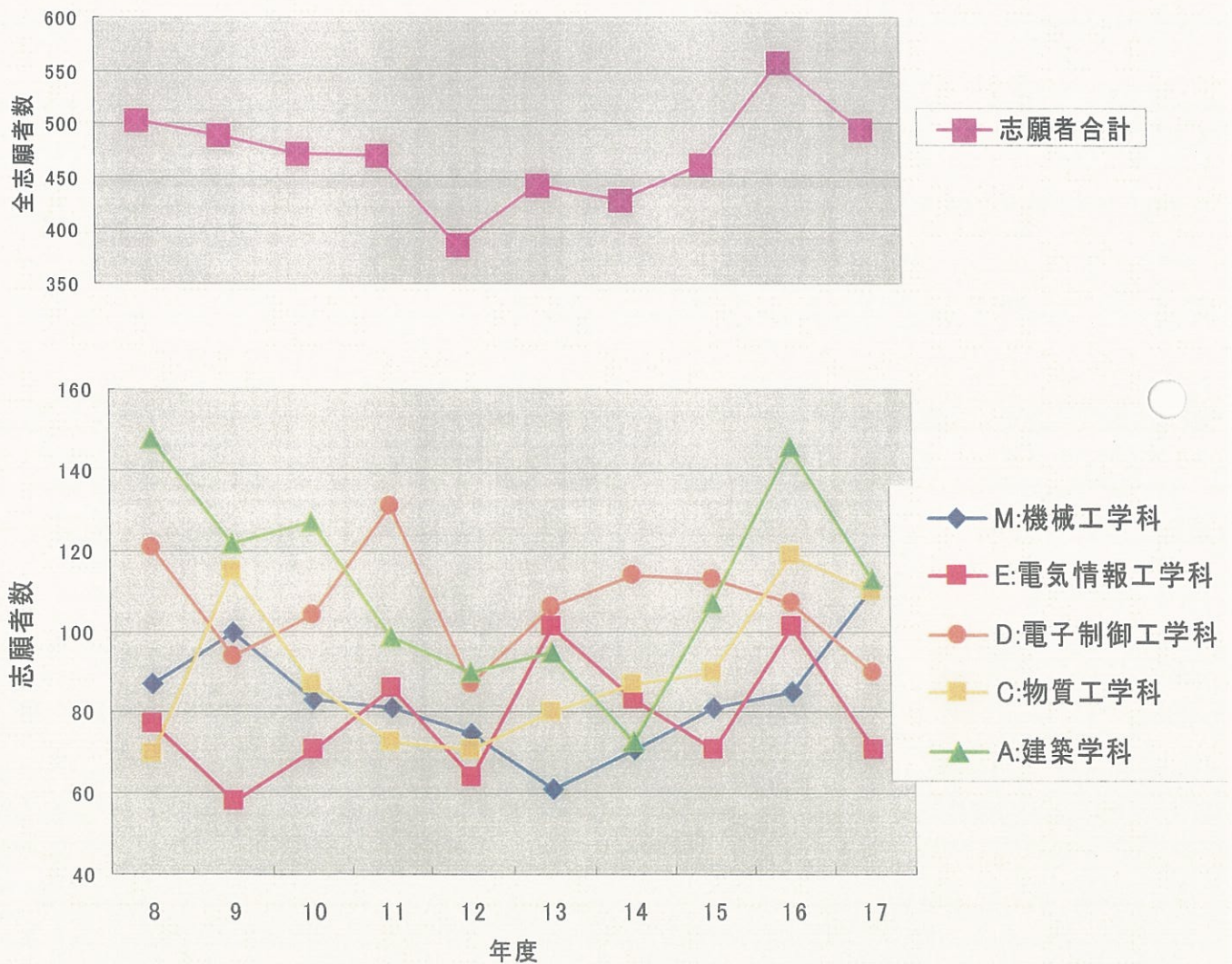
a. 現行の入試方法

- ・ 入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の方法で実施
- ・ 推薦による選抜の募集人員は、各学科とも入学定員の30%程度とする。
- ・ 推薦による選抜は、作文検査、面接検査、中学校長から提出された調査書および推薦書を総合して判定する。
- ・ 学力検査による選抜は、学力検査、面接検査および中学校長から提出された調査書を総合して判定する。

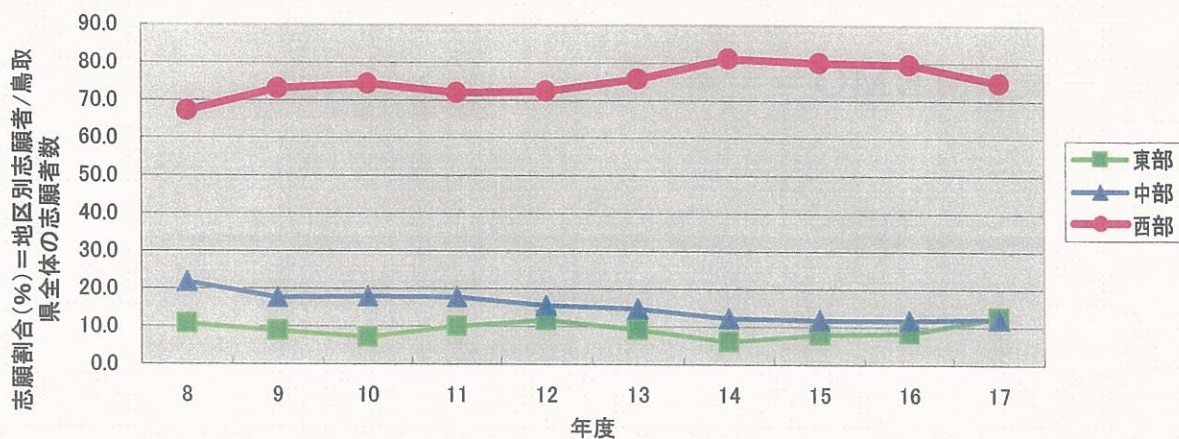
b. 入試方法の変更と年度

- ・ 平成5年度（1993）県立高校との併願を認める。
- ・ 平成8年度（1996）入学意志調査を学力試験終了時に行い、適正な入学者の確保を図る
- ・ 平成16年度（2004）中学校の成績評価制度の変更に伴う入試制度の変更
 - ① 学力検査による選抜に「面接検査」を加えた
 - ② 学力検査の判定基準の変更

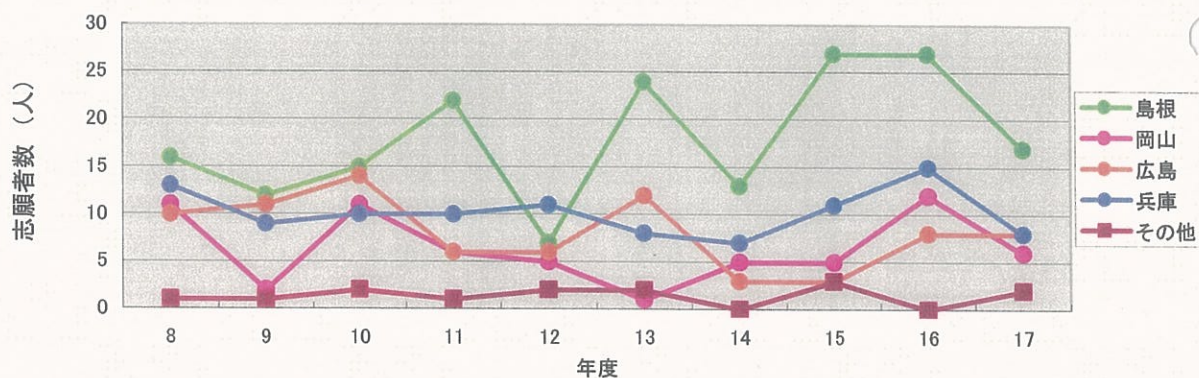
志願者の年度推移



地域別入学志願者の推移 - 鳥取県内受験者 -



地域別入学志願者の推移 - 県外受験者 -



年度	県内志願者			県外志願者					合計
	東部	中部	西部	島根	岡山	広島	兵庫	その他	
8	49	99	304	16	11	10	13	1	503
9	41	81	332	12	2	11	9	1	489
10	31	76	313	15	11	14	10	2	472
11	43	76	306	22	6	6	10	1	470
12	42	56	258	7	5	6	11	2	387
13	37	59	300	24	1	12	8	2	443
14	25	50	325	13	5	3	7	0	428
15	33	49	330	27	5	3	11	3	461
16	42	59	395	27	12	8	15	0	558
17	58	56	340	17	6	8	8	2	495

3. 入試広報活動

(1) 本校主催入試説明会の参加状況

- 学校見学会（オープンカレッジ）参加状況

年度	実施日	中学校数	参加人員等			
			生徒	教員	保護者	合計
14	6.29(土)	56	233	16	47	296
15	7.25(金)	82	356	30	57	443
16	7.30(金)	65	351	39	45	435

- 鳥取地区中学生および保護者への入試説明会

年度	実施日	場所	参加校	参加人員		
				生徒	保護者	合計
15	11.15(土)	鳥取文化会館	22	35	37	72
16	11.27(土)	鳥取文化会館	19	42	30	72

- 中学校進路指導担当者向け 入試説明会

平成 16 年度入試説明会

会場	期日	場所	参加中学校数
米子	H15.10.3(金)	ベルライト米子	38
鳥取	H15.10.9(木)	鳥取厚生年金会館	26
倉吉	H15.10.16(木)	倉吉シティホテル	15
豊岡	H15.10.24(金)	豊岡市立中央会館	6
庄原	H15.10.30(木)	庄原市立中央公民館	5

平成 17 年度入試説明会

会場	期日	場所	参加中学校数
米子	H16.10.1(金)	ベルライト米子	35
鳥取	H16.10.14(木)	鳥取厚生年金会館	27
倉吉	H16.10.20(水)	倉吉シティホテル	14
庄原	H16.10.22(金)	庄原グランドホテル	2
豊岡	H16.10.26(火)	豊岡市立中央会館	3

(2) 各種催し物におけるPR

- 鳥取県産業技術フェア (H16.10.15(金) ~ 17(日))
- コアテック in やすぎ (H16.10.16(土) ~ 17(日))
- 21世紀出雲産業見本市2004 (H16.11.13(土) ~ 14(日))

(3) 中学校向け PR

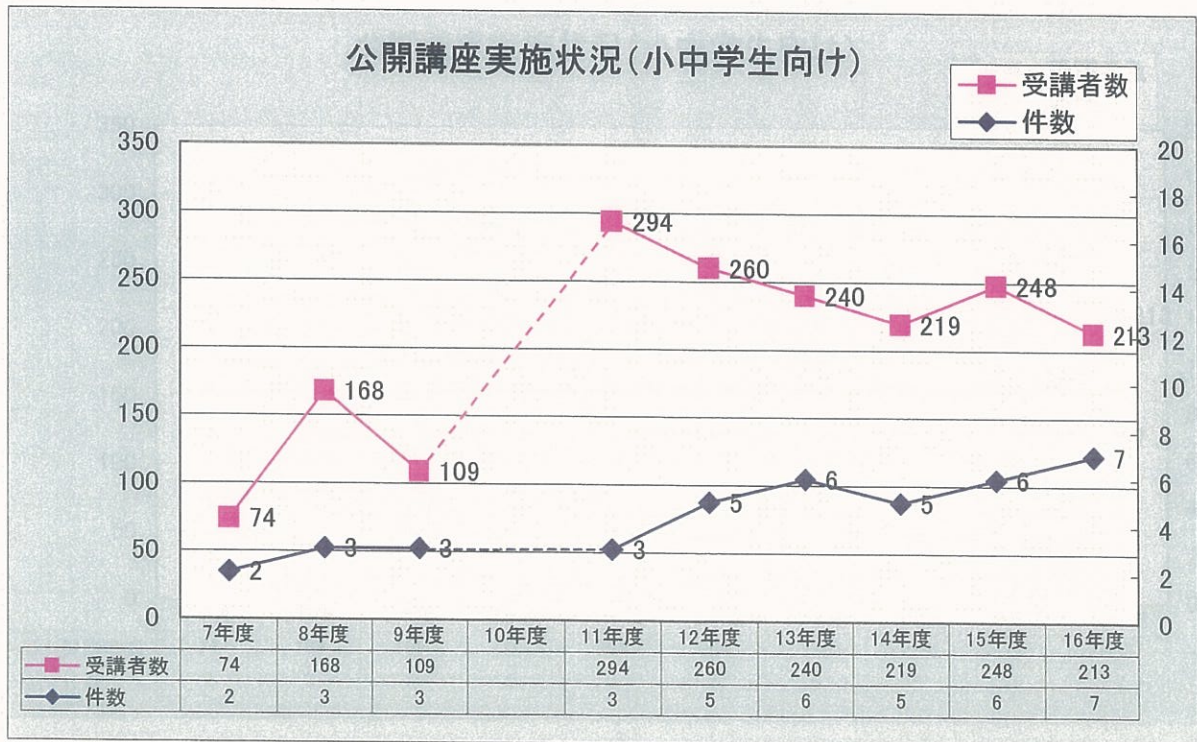
- ・ 中学校訪問

年度	訪問中学校数			
	鳥取県			島根県
	東部地区	中部地区	西部地区	
15	14	12	24	15
16	16	12	24	8

- ・ 中学校主催の進路説明会等への派遣

年度	派遣中学校数				
	鳥取県			島根県	その他
	東部地区	中部地区	西部地区		
15	—	11	20	3	1
16	—	11	21	3	1

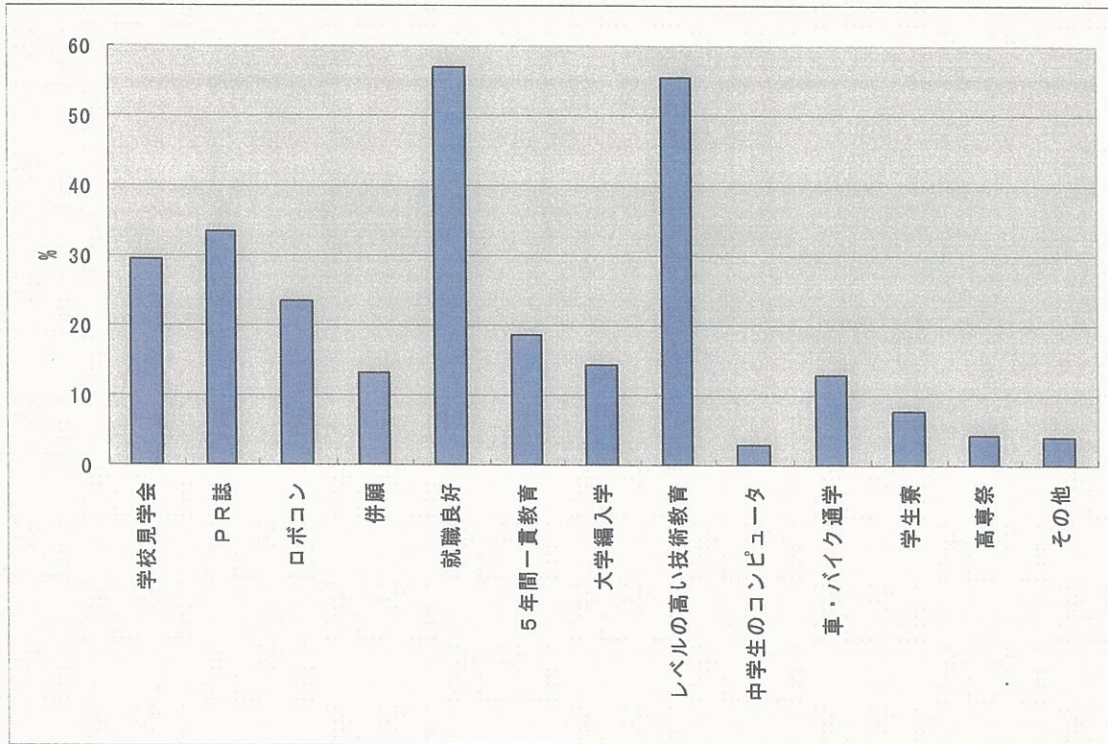
(4) 小中学生向けの公開講座



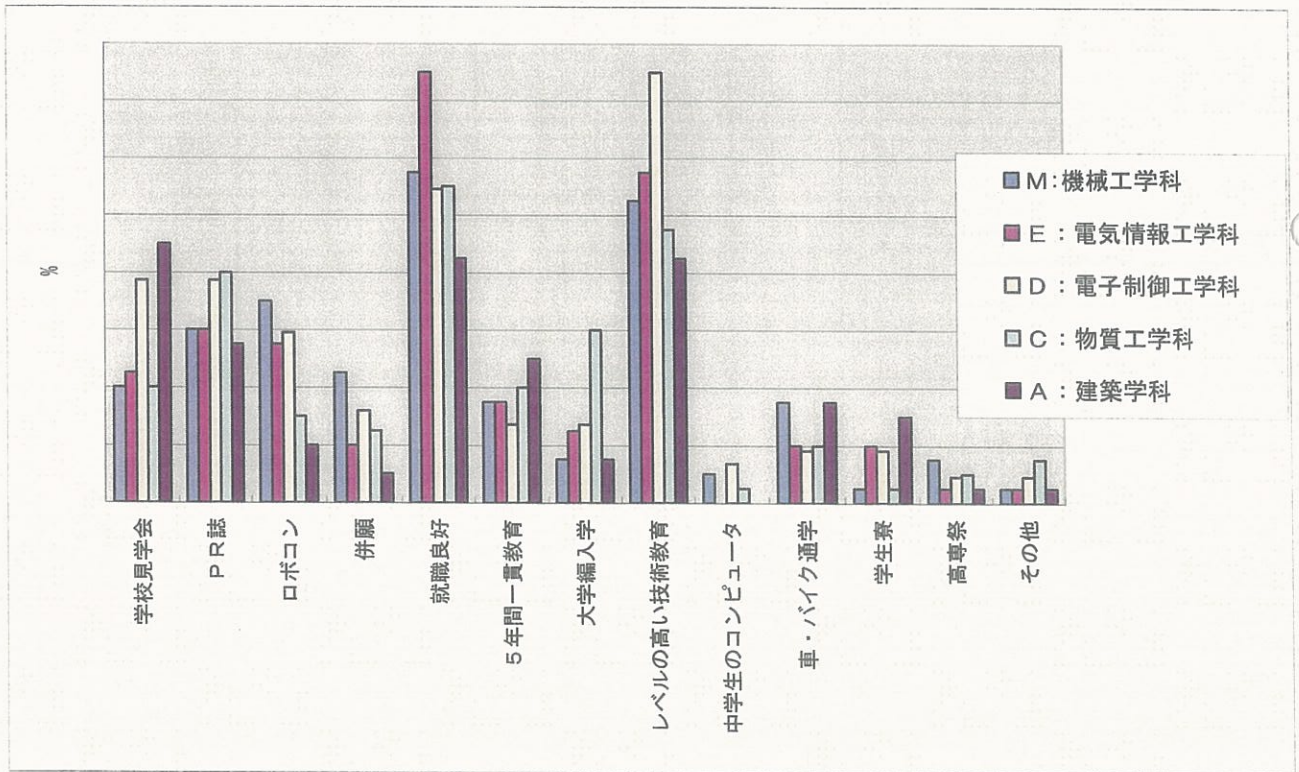
※ 平成 10 年度は情報機器更新のため実施していない

4. 平成 16 年度入学生の意識調査

受験志望動機

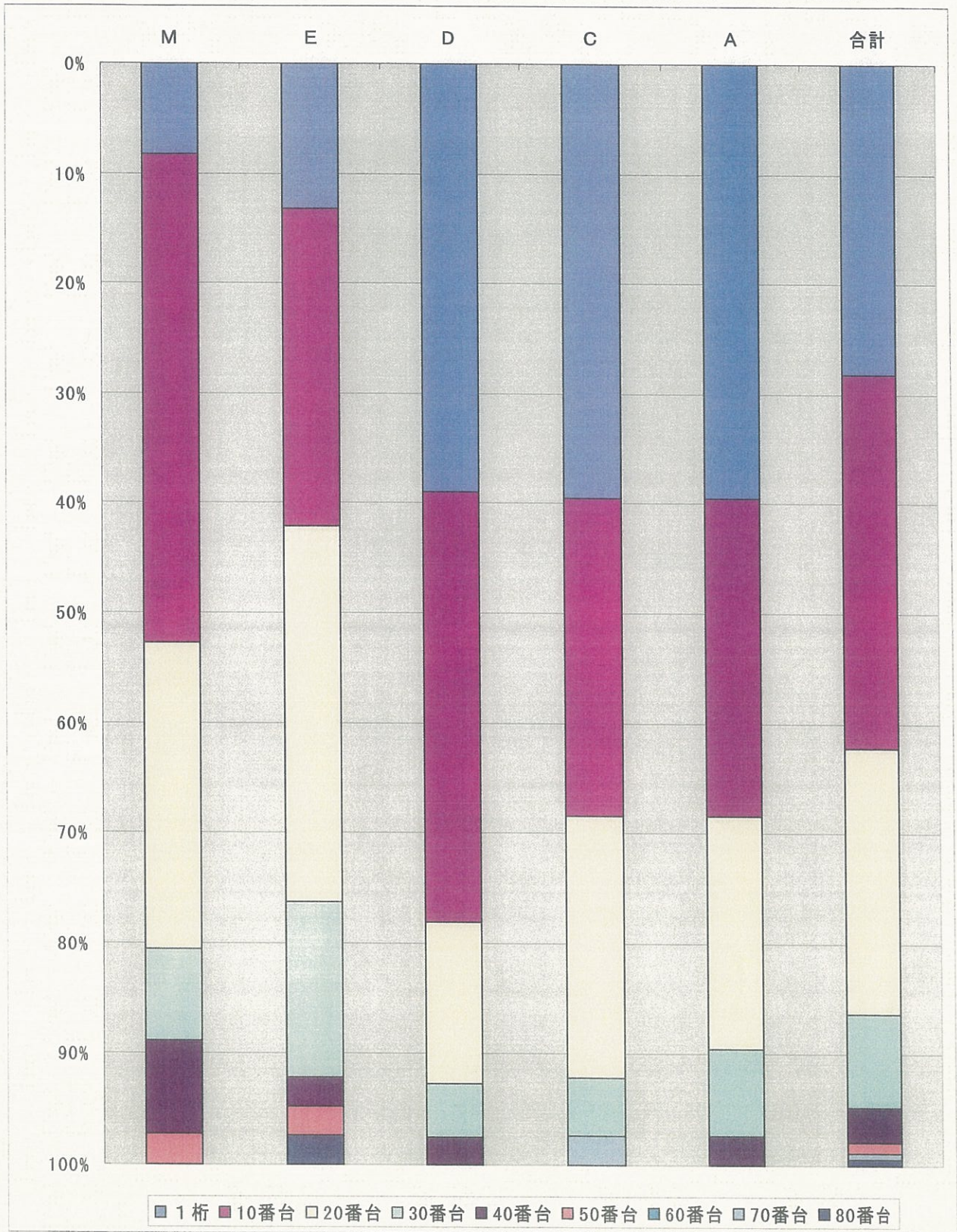


学科別：受験志望動機

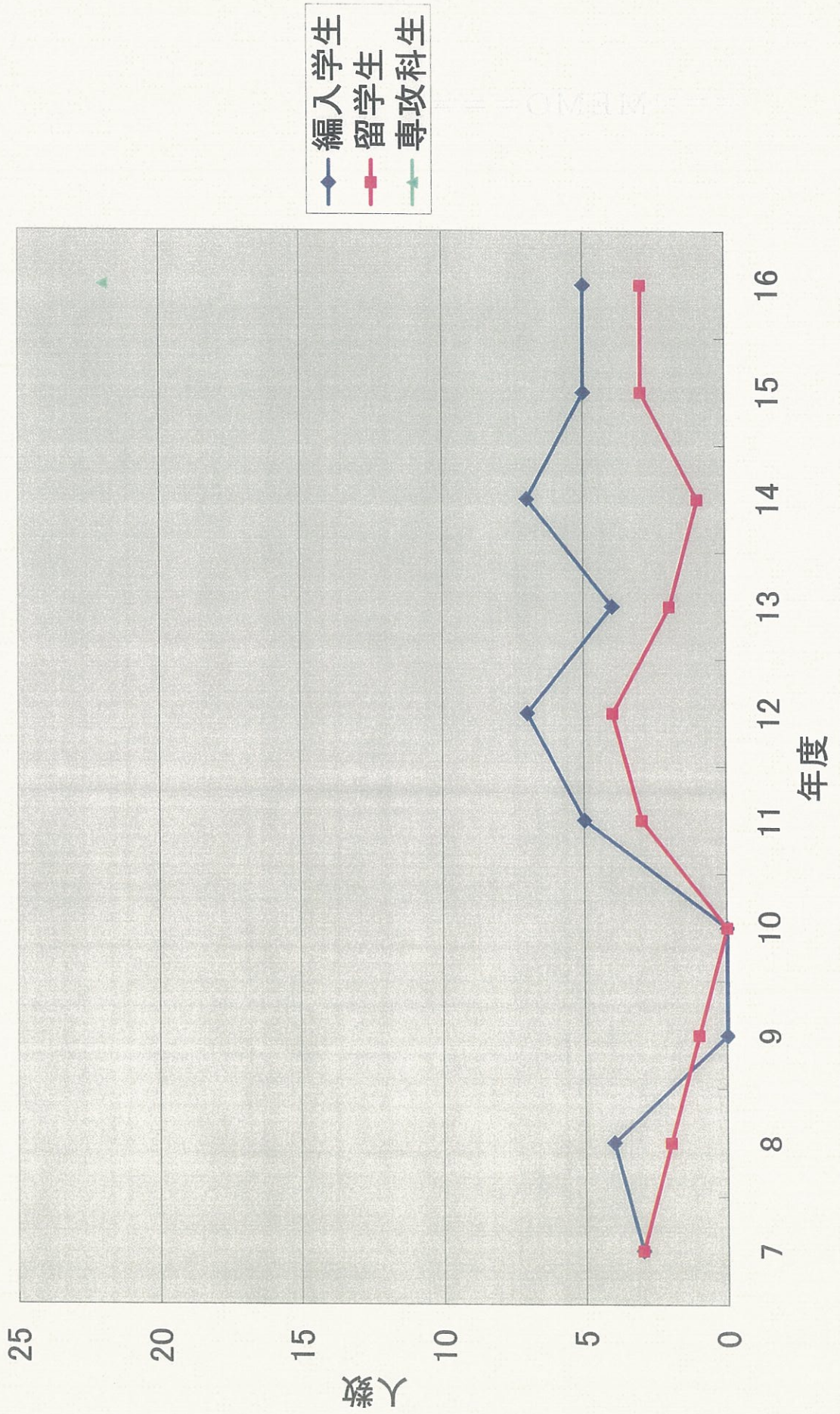


中学校3年時の実力テスト順位（100人中に換算）

M:機械工学科 E:電気情報工学科 D:電子制御工学科 C:物質工学科 A:建築学科



5.編入学生, 留学生, 専攻科生の推移



II 社会に送り出す

1. 職業意識の育成

- ・ 早期からの職業意識の育成
- ・ 指導状況の保護者との共有：後援会、支部後援会、保護者会等保護者との交流時には必ず、進路指導状況を話し、保護者としての心構えをお願いする。
- ・ 就職か進学か：本人と保護者との考えに任せている。

2. 進路指導体制

- ・ 学科ごとに、5 学年担任（進路指導教員）を中心に、学科長、4 学年担任（専門学科教員の場合）が手助けをする形
- ・ 学科ごとに、就職求人および大学等編入情報のデータベースを構築し、学生の便を図っている。

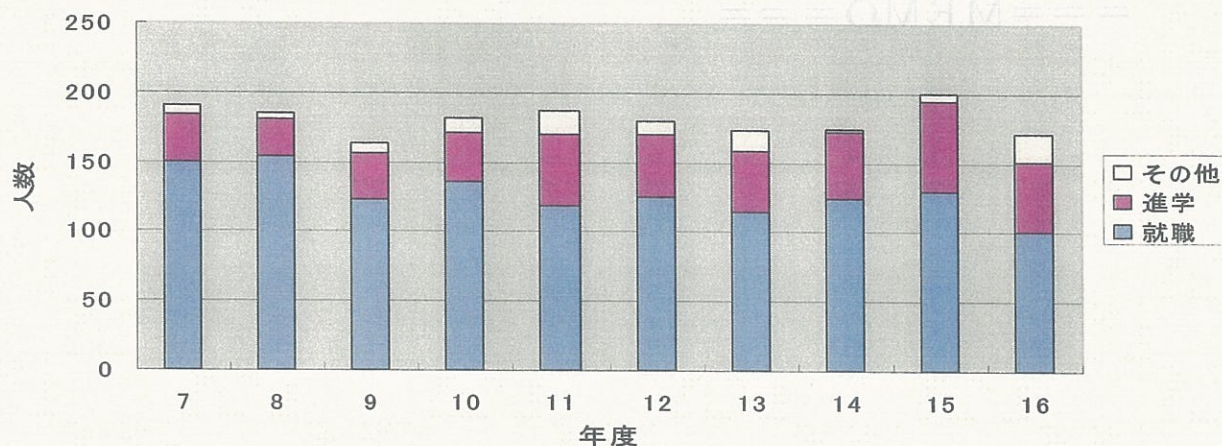
3. 進路指導の実際と進路指導関連行事

- ・ 低学年：1～3 年
授業を利用した工場、施設、設備見学
HRにて、就職担当教員による進路状況の話
- ・ 3 年生：後期、各学科ごと 2 泊 3 日の工場見学旅行（事前調査レポート、事後レポート）
- ・ 4 年生：夏休み：インターンシップ（工場実習）・・・実体験
報告会の義務付けと単位（1 単位）認定…インターンシップ実施報告書にまとめる
- ・ 4 年生：後期：就職セミナー・・・専門家による面接指導面
卒業生による講演
- ・ 4 年生：後期、就職模試の実施（1～2 回）
- ・ 4 年生春休み：進路に関する三者面談・・・就職か進学かの決定
- ・ 5 年生始め：学級担任との個別面談
- ・ 5 年生：卒業研究室ごとでの面接指導等
- ・ 5 年生ゴールデンウィーク前：第 1 陣、就職書類送付

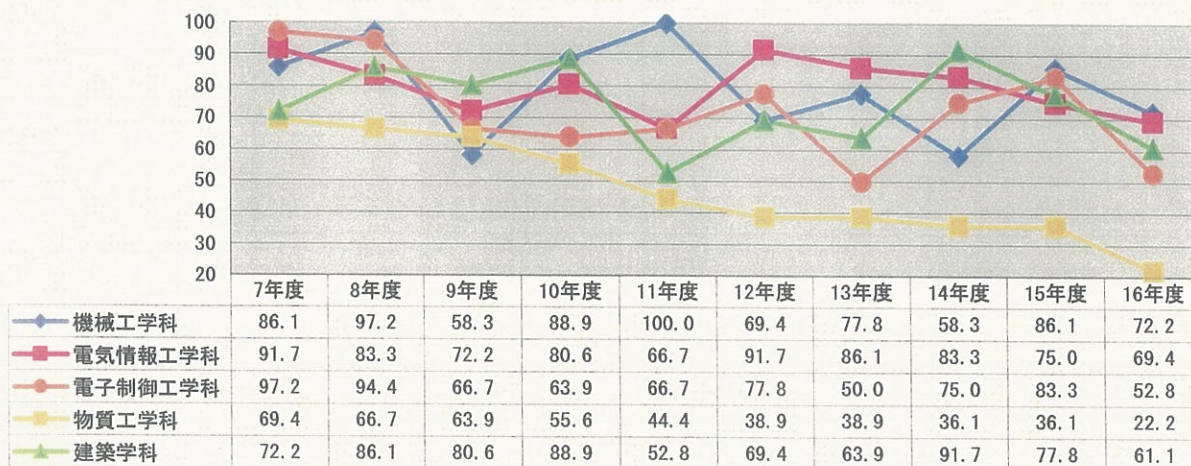
4. 最近 10 年の進路状況（資料）

- ・ 最近 10 年の進路状況
- ・ 学科別就職希望者率の推移
- ・ 求人状況
- ・ 学科別の主たる就職先
- ・ 主たる進学先
- ・ 平成 16 年度進路状況

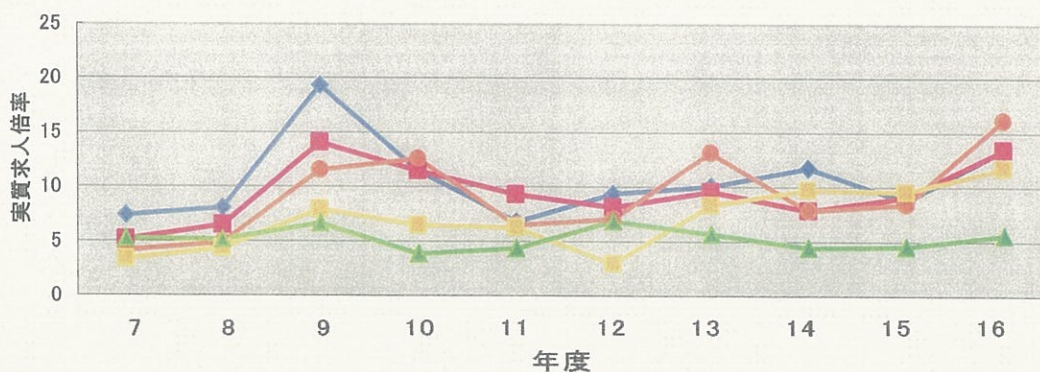
最近10年間の進路状況



学科別就職希望者率の推移



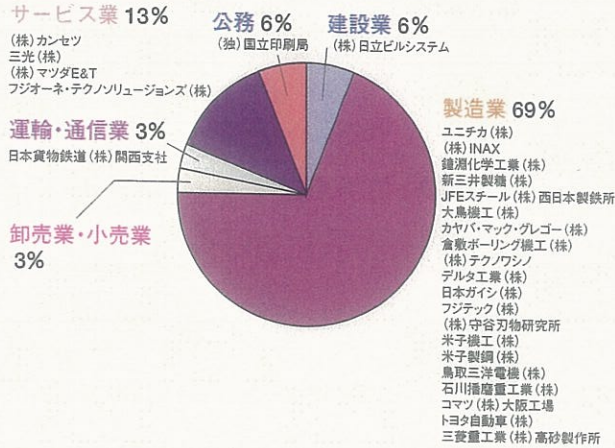
求人状況



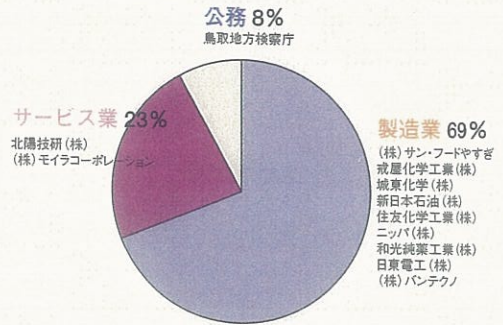
(実質求人倍率) = (求人数) / (就職希望者数)

学科別主たる就職先

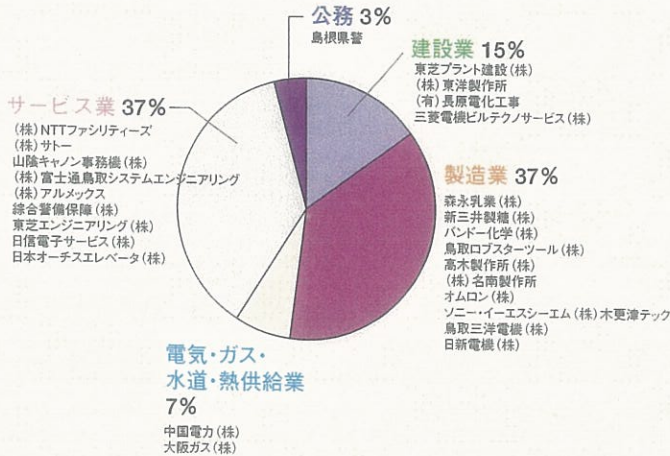
機械工学科 Mechanical Eng.



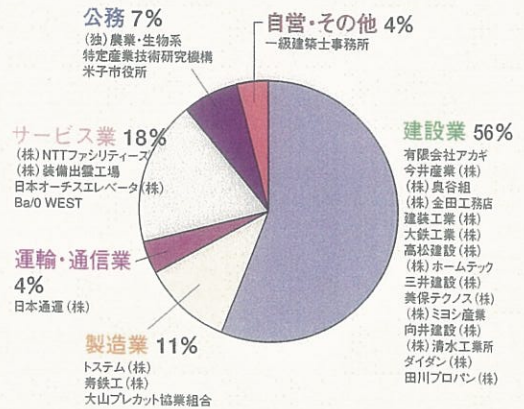
物質工学科 Materials Science



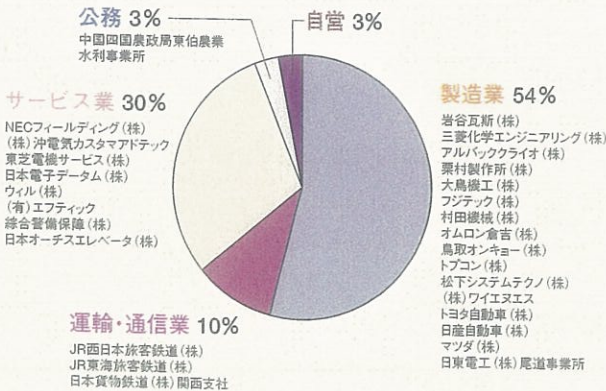
電気工学科 Electrical Eng.



建築学科 Architecture



電子制御工学科 Electronic Control Eng.



主たる進学先

学校名		'00	'01	'02	'03	'04	合計
国立 大学	北海道大学 Hokkaido Univ.		1				1
	室蘭工業大学 Muroran Institute of Technology					1	1
	帯広畜産大学 Obihiro Univ.of Agriculture Veterinary Medicine		1				1
	弘前大学 Hirosaki Univ.		2	1			3
	宇都宮大学 Utsunomiya Univ.	1					1
	千葉大学 Chiba Univ.			1			1
	東京農工大学 Tokyo Univ. of Agriculture & Technology	1	1	2			4
	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology				1	1	2
	長岡技術科学大学 Nagaoka Univ. of Technology	6	2		2	3	13
	富山大学 Toyama Univ.	1				1	2
	山梨大学 Yamanashi Univ.		1		1		2
	信州大学 Shinshu Univ.		1	1			2
	岐阜大学 Gifu Univ.	1					1
	名古屋大学 Nagoya Univ.			1			1
	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology		1			1	2
	豊橋技術科学大学 Toyohashi Univ. of Technology	4	6	8	1	7	26
	三重大学 Mie Univ.	1	2		1	3	7
	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology		1		2		3
	神戸大学 Kobe Univ.	2				1	3
	奈良女子大学 Nara Women's Univ.			1	1		2
	和歌山大学 Wakayama Univ.	1		1	2	2	6
	鳥取大学 Tottori Univ.	4	4	2	4	1	15
	島根大学 Shimane Univ.	7	6	5	5	5	28
	岡山大学 Okayama Univ.	2	3	4	1	2	12
	広島大学 Hiroshima Univ.	4	5	1	3	5	18
	山口大学 Yamaguchi Univ.	4		2	3	5	14
	徳島大学 Tokushima Univ.	1			1	2	4
	香川大学 Kagawa Univ.			2	2	1	5
	愛媛大学 Ehime Univ.	1		1		1	3
	九州芸術工科大学 Kyushu Univ. of Technology	1					1
	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	1	2	1	1	1	6
	佐賀大学 Saga Univ.		1				1
長崎大学 Nagasaki Univ.	2	1	1	1	1	6	
熊本大学 Kumamoto Univ.			1	2	1	4	
大分大学 Oita Univ.					1	1	
鹿児島大学 Kagoshima Univ.				1		1	
琉球大学 Ryukyu Univ.					1	1	
公立 大学	東京都立大学 Tokyo Metropolitan Univ.		1	1			2
	滋賀県立大学 The Univ. of Shiga Prefecture				1	1	2
	京都府立大学 Kyoto Prefectural Univ.			1			1
	大阪府立大学 Univ. of Osaka Prefecture			1			1
	広島市立大学 Hiroshima City Univ.	1					1
	山口県立大学 Yamaguchi Prefectural Univ.				1		1
私立 大学	フェリス女学院大学 Ferris Univ.	1					1
	豊田工業大学 Toyota Technological Institute		2	2	2		6
	日本福祉大学 Nihon Fukushi Univ.					1	1
	成安造形大学 Seian Univ. of Art and Design		1				1
	京都外国語大学 Kyoto Univ. of Foreign Studies				1		1
	京都精華大学 Kyoto Seika Univ.	1		1	1		3
	鳥取環境大学 Tottori Univ.of Environmental Studies				1		1
	高知工科大学 Kochi Univ.of Technology			1			1
高専	福井高専専攻科 Post-graduate Courses of Fukui College of Technology	1					1
	小山高専専攻科 Post-graduate Courses of Oyama College of Technology	1					1
	舞鶴高専専攻科 Post-graduate Courses of Maizuru College of Technology				1		1
	米子高専専攻科 Post-graduate Courses of Yonago College of Technology					14	14
計		50	45	43	43	63	244

平成16年度進路状況

◎ 学生進路状況

(17.3.1)

学科	進路希望者数										進路決定者数										進路未定者					
	就職希望者数					進学希望者数					就職決定者数					進学決定者数					就職希望 ⑧	進学希望 ⑨				
	県内	島根	県外	その他	計	大学	専攻科	他校	各種	希望者数	県内	島根	県外	その他	計	②のうち 公務員	②のうち 家業	大学	専攻科	他校			各種	学校	合計 ②~⑦	
																					①	③				④
M	34 ⑤⑥⑦	3		24	27 (0)	5	2				3	6	9	8	26 (0)				5	2			33 (0) ①	1		
E	31 (1) ①	6	1 (1)	18	25 (1)	3	3				6	2 (1)	6	4	25 (1)				3	3			31 (1) ①			
D	32 (3)	3		16 (3)	19 (3)	7	5				3	9	4	3 (3)	19 (3)				7	5			31 (3)	1		
C	33 (16)	4 (2)		8 (4)	11 (5)	12 (5)	7 (3)				3	3 (1)	2		8 (3)				12 (5)	7 (3)			30 (14)	3 (2)		
A	41 (22) ①	12 (7)		15 (8)	27 (15)	7 (4)	6 (3)				9 (5)	5 (2)	6 (3)	3 (2)	23 (12)	1 (1)			7 (4)	6 (3)			37 (19)	4 (3)		
計	171 (42) ③	28 (9)	1 (1)	81 (15)	109 (24)	34 (9)	23 (6)	0 (0)	5 (3)	24 (6)	2 (1)	30 (4)	27 (3)	18 (5)	101 (19)	1 (1)	0 (0)	34 (9)	23 (6)	0 (0)	4 (3)	162 (37) ③	8 (5)	1 (0)		

就職：
公務員希望

オ-ストリフ
留学希望

就職：2名は
建築以外希望

◎ 求人状況 () は女子学生の内数, ○は留学生の内数, 公務員、家業は決定者数の内数 「サービス業」の中に「機械・電気・電子・ｼﾌﾄ」を追加しました。↓

学科	求人状況												業種別求人数												参考 (昨年最終)				
	求人数 (企業数)						倍率						製造業						サービス業						就職 希望者 数	求人数	倍率		
	県内			県外			計			運輸			通信業			化学			機械	電気	化学	機械	電気	電子				ｼﾌﾄ	情報
	島根	県東	その他	島根	県東	その他	島根	県東	その他	島根	県東	その他	島根	県東	その他	島根	県東	その他							島根	県東	その他		
M	29	12	98	64	161	364	13.5	17	83	44	43	5	3	30	40	56	1	42	364	31	274	8.8							
E	34	8	161	63	72	338	13.5	3	38	133	34	13	10	16	77	1	11	338	27	245	9.1								
D	22	8	187	37	54	308	16.2	3	50	42	22	12	4	16	62	53		44	308	30	254	8.5							
C	10	3	67	29	33	142	12.9		17	11	28	1	1	9	23		1	51	142	14	135	9.6							
A	26	3	75	31	25	160	5.9	30	16	3	8	2	1	9	27	1	45	160	30	139	4.6								
計	121	34	588	224	345	1,312	12.0	53	204	233	135	33	19	80	229	110	5	193	1,312	132	1,047	7.9							